

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(弁の動的機能維持評価)

提出年月日:2020年5月12日
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書			指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への反映箇所	備考
1	—	弁の動的機能維持評価について	P1	2020/1/23	動的機能維持評価の対象である弁が据え付けられている配管系について、剛・柔の判断基準を説明すること。		今回回答	補足説明資料へ剛・柔の判断基準を記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P1)	
2	—	弁の動的機能維持評価について	P4	2020/1/23	応答加速度の「有意な増加」の判断基準のうち、「増加が許容値の10%以上」の内容を具体的に示すとともに、本影響検討の目的を踏まえた、判断基準の妥当性を説明すること。		今回回答	「増加値が許容値の10%以上」の内容を具体的に示しました。 また、有意な増加を判断基準とする妥当性について、補足説明資料の添付4にまとめました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P5, P66~P68)	
3	—	弁の動的機能維持評価について	P4	2020/1/23	「有意な増加」が確認されなかった振動数領域より高振動数領域の影響を考慮しないとする考え方について、最大加速度(ZPA)を1.2倍して高振動数領域の影響を考慮することや先行審査事例を踏まえて、その妥当性を整理して説明すること。		今回回答	有意な増加が確認されなかった振動数領域より高振動数領域の影響を考慮しない考え方について、補足説明資料の添付4にまとめました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P69~P71)	
4	—	弁の動的機能維持評価について	添付1 P17	2020/1/23	高振動数領域を考慮した弁の機能維持評価で用いる振動数領域の検討で使用した、代表弁の選定根拠を説明すること。		今回回答	補足説明資料の添付1, 添付2で検討対象とした弁の選定理由を記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P18)	
5	—	弁の動的機能維持評価について	添付2相当	2020/1/23	弁の動的機能維持評価に用いる床応答曲線について、原子炉建物と原子炉格納容器内の主要位置での床応答曲線の高振動数領域の傾向を踏まえた上で、代表弁の応答加速度の検討結果と併せて、位置による床応答曲線の使い分けを説明すること。		今回回答	検討結果を踏まえた弁の動的機能維持に用いる評価条件を記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P3)	
6	—	弁の動的機能維持評価について	添付2 P28,P29	2020/1/23	高振動数領域を考慮した弁の機能維持評価で用いる振動数領域の検討及び弁の動的機能維持評価に用いる床応答曲線の検討での解析結果(弁の応答加速度)について、固有振動数、刺激係数及び振動モード等に基づく考察を説明すること。		今回回答	補足説明資料の添付1, 添付2の解析結果について、考察を記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P22~P24, P30, P37, P54)	
7	—	弁の動的機能維持評価について	添付2相当	2020/1/23	原子炉建物以外の建物の床応答曲線の高振動数領域の影響について、整理して説明すること。		今回回答	原子炉建屋以外で動的機能維持の評価対象弁が設置されているタービン建屋の設計用床応答曲線について、原子炉建屋と同様に20Hz近傍にて震度が収束しており、高振動領域の影響が小さくなる傾向にあることを記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P18, P19)	
8	—	弁の動的機能維持評価について	添付3 P48	2020/1/23	重大事故時等対処施設として動的機能維持が要求される弁について、抽出過程も含めて説明すること。		今回回答	重大事故時等対処施設を対象とした動的機能維持評価の要求の有無について、整理した結果を記載しました。	KK7補足-028-5改1 弁の動的機能維持評価について(P55, P65)	
9	—	弁の動的機能維持評価について	添付3 P48	2020/1/23	弁以外の柔な機器(たて形ポンプ等)の応答加速度の評価及び強度評価について、高振動数領域を考慮した場合の影響を整理して説明すること。		今回回答	弁以外の柔な機器について、高振動数領域を考慮した場合の影響を整理し、補足説明資料にまとめました。	KK7補足-028-10-22改0 原子炉補冷却海水系ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	